

# DIOXIN2019

39th International Symposium on Halogenated  
Persistent Organic Pollutants

(第 39 回ダイオキシン&POPs 国際会議)

## 協 賛 依 頼 趣 意 書

主催: DIOXIN2019 国際会議組織委員会

2018 年 12 月 25 日 改訂版

## DIOXIN2019

39th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants

(第 39 回ダイオキシン&POPs 国際会議)

### 開催趣旨

ダイオキシン国際会議は、1980 年に第 1 回がイタリアのローマで開催されて以来毎年、医学、薬学、化学、工学、農学、生態学などの広い分野の研究者が集い、ダイオキシン類や関連の残留性有機汚染物質(POPs)についての最新の研究成果の報告を中心に情報交換や意見交換を行い、関連の学術分野の進歩、進展に貢献することを目的とする有害化学物質汚染に関する世界的規模の国際会議です。主に、ハロゲン化残留性有機汚染物質に関する環境での存在や挙動、ヒトや生物への曝露や影響、廃棄物の分解や制御方策などを中心に学術的な議論を進めています。最近では、2014 年にマドリッド(スペイン)、2015 年にサンパウロ(ブラジル)、2016 年にフィレンツェ(イタリア)、2017 年にバンクーバー(カナダ)で開催され、2018 年はクラクフ(ポーランド)で開催されました。

日本では、本会議は 1986 年福岡、1994 年京都、2007 年東京で開催されております。日本でのそれぞれの開催とともに、ダイオキシン類対策や PCB 分解処理に関わる環境政策が推進されてきており、関係する対策技術の開発、そして幅広い研究が進められてきています。国際的には、2001 年に「残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約」が採択され、POPs の地球規模での抑制に向けた取り組みが推進されています。

POPs 条約の規制対象物質は、条約発効時の 12 物質群から大幅に増加しており、平成 27 年 5 月に開催された POPs 条約第 7 回締約国会議までに計 26 物質群が指定され、拡がりを見せています。歴史的には、ダイオキシン類、農薬、PCB 問題に端を発しておりますが、日本でも昨今においては扱われる物質は多岐にわたっており、それらのライフサイクルでの管理が問われています。また、日本では高濃度 PCB 廃棄物の処理の最終段階に入っており、一つの転換点とも言える時期になっています。

今回、国際的なエキスパート間で最新の知識・情報を交換することによって、POPs に関する様々な問題を議論することを目的に、2019 年 8 月 25 日(日)～30 日(金)まで京都市・国立京都国際会館で開催いたします。約 700 名の参加が見込まれます。12 年ぶり 4 回目の日本開催となり、現在の日本における POPs 研究、制御・管理技術及び施策などを発信し、地球および日本の環境保全がはかられることを願っています。

第 39 回ダイオキシン&POPs 国際会議

議長 酒井 伸一

(京都大学環境安全保健機構附属環境科学センター・教授)



## 1. 協賛依頼

下記へのご協賛をお願いいたたく存じます。また、参加登録という形でのご協力もお願い申し上げます。  
協賛いただいた全ての企業・団体様のお名前をプログラムに掲載させていただきます。

■協賛申込締切: 2019年4月30日(火)

### ■募集枠と内容

区分	スポンサーシップ					
	ダイヤモンド	プラチナ	ゴールド	シルバー	ブロンズ	レギュラー
賛助金	500万円	400万円	300万円	200万円	100万円	50万円
募集数	1社	1-2社程度	2社程度	3社程度	3社程度	15社程度
展示: <b>スペース小間</b> (仕様は下記参照)	5小間 (20㎡)	4小間 (16㎡)	3小間 (12㎡)	2小間 (8㎡)	1.5小間 (6㎡)	—
展示: <b>基礎小間</b> (仕様は下記参照)	—	—	—	—	—	1小間 (4㎡)
参加費無料	6名分	5名分	4名分	3名分	2名分	1名分
バンケットご招待	6名分	5名分	4名分	3名分	2名分	1名分
Web 配布物での広告	あり (最優先)	あり (最優先)	あり (最優先)	あり (優先)	あり	あり
展示一覧への記載	あり	あり	あり	あり	あり	あり
参加者データ (名前・所属・国名)の提供	あり	あり	あり	あり	あり	なし
参加者への Email 一斉送信	2回	2回	1回	なし	なし	なし
会議バッグへの パンフレット挿入	オプション 10万円	オプション 10万円	オプション 10万円	—	—	—
ランチョンセミナー	オプション 50万円/10万円 +昼食実費	オプション 50万円/10万円 +昼食実費	オプション 50万円/10万円 +昼食実費	オプション 50万円/10万円 +昼食実費	オプション 50万円/10万円 +昼食実費	オプション 50万円/10万円 +昼食実費
ドルチェセミナー	オプション 10万円 +デザート実費	オプション 10万円 +デザート実費	オプション 10万円 +デザート実費	オプション 10万円 +デザート実費	オプション 10万円 +デザート実費	オプション 10万円 +デザート実費

### ■ランチョンセミナー・ドルチェセミナー

スポンサーシップの追加オプションとして、ランチョンセミナー・ドルチェセミナーの開催も可能です。  
開催日は本趣意書の最終頁にございます「協賛申込書」よりご参照ください。

※ランチョンセミナー・ドルチェセミナーの開催には、スポンサーシップへのお申込みが必要です。  
(詳細はメールにて運営事務局へお問合せください。)

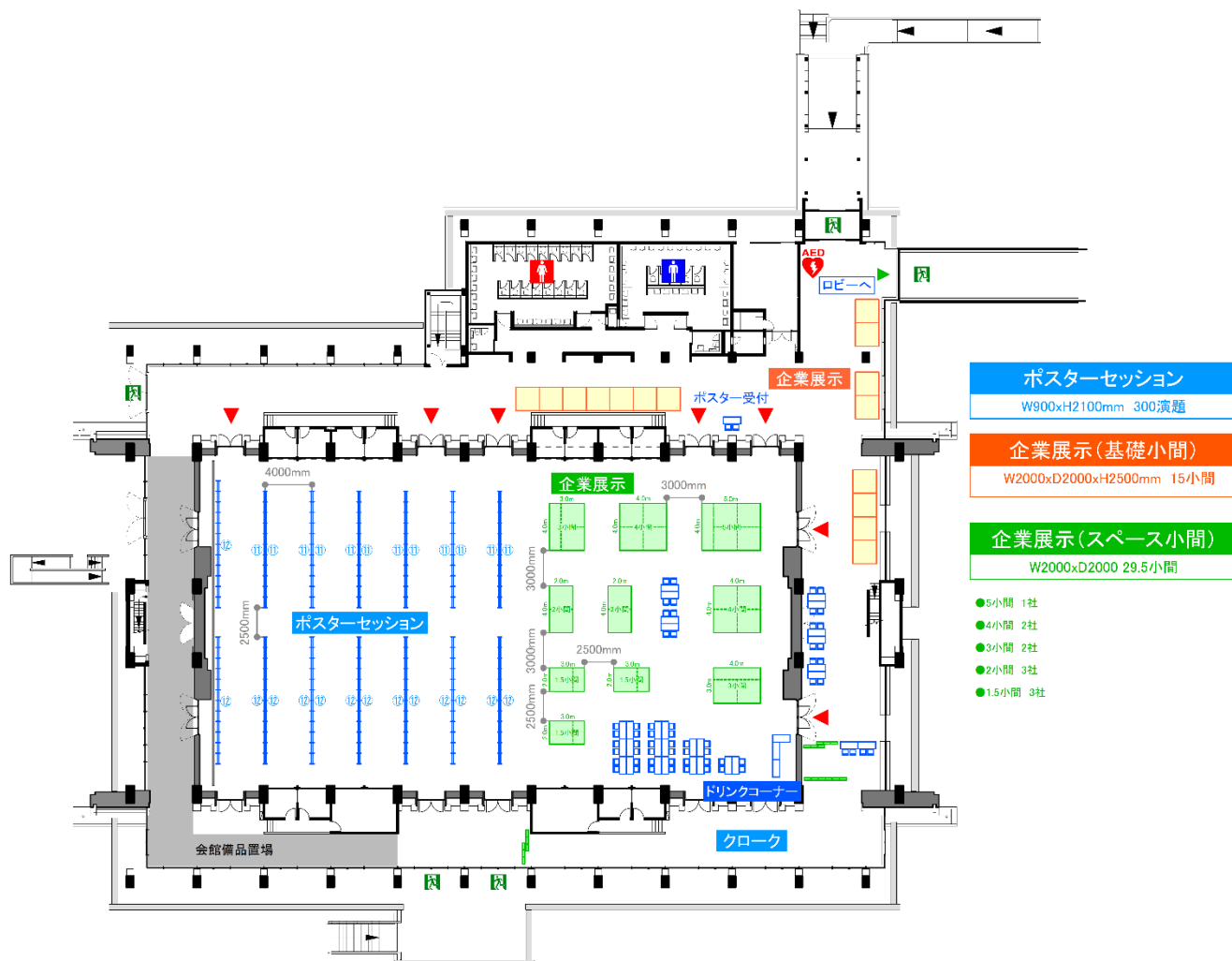
■展示の仕様

種類	サイズ (1小間あたり)	バックパネル	社名板	展示台	蛍光灯
スペース小間	W2000×D2000	なし	なし	なし	なし
基礎小間		あり	あり	あり	あり

※電源工事(コンセント)は、スペース小間と基礎小間どちらも、別途、有料オプションとなります。

■ 図面案

(実際の出展数によりレイアウトは変わる場合がございます。あらかじめご了承ください。)



# DIOXIN 2019 KYOTO International Conference Center Floor Plan

1F

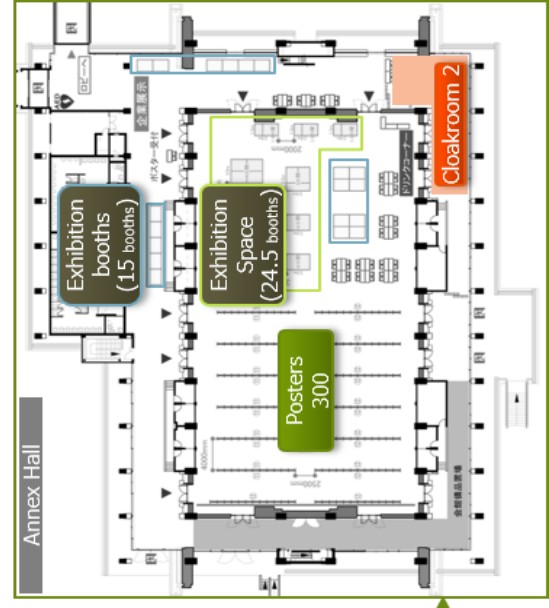
2F

■全体図

Room	Floor Area (m <sup>2</sup> )	# of seats
Room A	950m <sup>2</sup>	500
Room B-1	470m <sup>2</sup>	218
Room B-2	350m <sup>2</sup>	150
Room C-1	200m <sup>2</sup>	137
Room C-2	200m <sup>2</sup>	137
<b>Total # of Seats of the Rooms</b>		<b>1,142</b>

Room	Area (m <sup>2</sup> )	Remarks
Annex Hall1	900m <sup>2</sup>	
Annex Hall2	600m <sup>2</sup>	

Room	Area (m <sup>2</sup> )	Remarks
Main Entrance	1	
Room 101	55m <sup>2</sup>	
Room 102	25m <sup>2</sup>	
Room 103	90m <sup>2</sup>	
Room 104	100m <sup>2</sup>	
Cloakroom	1	
Annex Hall Lobby	1	
Room J	2	
Room K	2	



## 2. 会議概要

会議名: 39th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants  
DIOXIN2019  
(第 39 回ダイオキシン&POPs 国際会議)

会期: 2019 年 8 月 25 日(日)～30 日(金)

会場: 国立京都国際会館 (〒606-0001 京都市左京区岩倉大鷲町 422 番地)

主催: DIOXIN2019 国際会議組織委員会

共催: ※依頼予定  
国立大学法人 京都大学  
一般社団法人 日本環境化学会  
一般社団法人 廃棄物資源循環学会

後援: ※依頼予定  
環境省, 経済産業省, 厚生労働省, 農林水産省, 京都府, 京都市  
公益財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団  
公益社団法人 全国産業資源循環連合会  
公益社団法人 全国都市清掃会議  
公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター  
公益財団法人 廃棄物・3R 研究財団  
一般社団法人 日本環境衛生施設工業会  
一般財団法人 日本環境衛生センター  
一般社団法人 日本廃棄物コンサルタント協会  
一般社団法人 日本環境測定分析協会  
環境ホルモン学会  
日本環境毒性学会

主要テーマ: 分析, 環境中の存在, 環境挙動と運命, 生成と発生源, 排出制御, 曝露と疫学,  
毒性, 生態毒性, リスクの評価と管理, 物理化学特性とモデリング, 規制と政策,  
廃 PCB 分解, アジア地域の POPs モニタリング

スケジュール: 2019 年 1 月 15 日(火) 演題登録(ショートペーパー) 開始  
2019 年 4 月 12 日(金) 事前参加登録 開始  
2019 年 4 月 30 日(火) 協賛申込 締切  
2019 年 7 月 19 日(金)正午 事前参加登録(Early bird) 締切

会議プログラム:

8月25日(日)	15:00 - 21:00	当日参加登録 受付
	18:00 - 20:00	Get Together パーティー
8月26日(月)	10:30 - 12:00	オープニングセレモニー・プレナリーレクチャー
	12:00 - 13:00	昼食
	13:00 - 14:00	ポスターセッション
	14:00 - 16:00	分科会(5会場)120分
	16:00 - 16:30	コーヒーブレイク 30分
	16:30 - 18:30	分科会(5会場)120分
	19:00 - 21:00	ウェルカムレセプション
8月27日(火)	08:45 - 09:30	プレナリーレクチャー
	09:30 - 10:00	コーヒーブレイク 30分
	10:00 - 12:00	分科会(5会場)120分
	12:00 - 13:00	昼食
	13:00 - 14:00	ポスターセッション
	14:00 - 16:00	分科会(5会場)120分
	16:00 - 16:30	コーヒーブレイク 30分
	16:30 - 17:50	分科会(5会場)80分
8月28日(水)	08:45 - 09:30	プレナリーレクチャー
	09:30 - 10:00	コーヒーブレイク 30分
	10:00 - 12:00	分科会(5会場)120分
	12:00 -	オプションツアー(カルチャープログラム)
8月29日(木)	08:45 - 09:30	プレナリーレクチャー
	09:30 - 10:00	コーヒーブレイク 30分
	10:00 - 12:00	分科会(5会場)120分
	12:00 - 13:00	昼食
	13:00 - 14:00	ポスターセッション
	14:00 - 16:00	分科会(5会場)120分
	16:00 - 16:30	コーヒーブレイク 30分
	16:30 - 17:50	分科会(5会場)80分
		移動
	19:00 - 21:00	懇親会
8月30日(金)	09:30 - 10:45	プレナリーレクチャー+コーヒーブレイク 30分
	10:45 - 12:15	サマリー
	12:15 - 12:45	学生表彰, クロージングセレモニー, DIOXIN2020 紹介



使用言語： 英語とする。同時通訳はなし。

参加予定者数： 約 700 名(国内 400 名, 国外 300 名)

参加予定国： 日本, 韓国, 中国, マレーシア, タイ, ドイツ, 台湾, アメリカ, イタリア, フランス,  
カナダ, ベトナム, イラン, インドネシア, スウェーデン, オランダ, スペインなど (約 30 か国)

演題予定数： 口頭発表 250 件(質疑含む 20 分), ポスター発表 300 件

参加登録料：

■一般

事前参加登録 (Early bird)	2019 年 7 月 19 日正午まで	80,000 円
事前参加登録 (通常)	2019 年 7 月 19 日正午～8 月 9 日	100,000 円
当日参加登録	2019 年 8 月 25 日～8 月 30 日	

■学生

事前参加登録 (Early bird)	2019 年 7 月 19 日正午まで	40,000 円
事前参加登録 (通常)	2019 年 7 月 19 日正午～8 月 9 日	50,000 円
当日参加登録	2019 年 8 月 25 日～8 月 30 日	

■Day Pass(2 日間参加)

事前参加登録 (通常)	2019 年 7 月 19 日正午～8 月 9 日	50,000 円
当日参加登録	2019 年 8 月 25 日～8 月 30 日	

■同伴者

事前参加登録 (通常)	8 月 9 日まで	20,000 円
当日参加登録	2019 年 8 月 25 日～8 月 30 日	

■企業展示説明員(Exhibitor rate)

事前参加登録 (通常)	8 月 9 日まで	20,000 円
当日参加登録	2019 年 8 月 25 日～8 月 30 日	

■バンケット

事前参加登録 (Early bird)	2019 年 7 月 19 日正午まで	10,000 円
事前参加登録 (通常)	2019 年 7 月 19 日正午～8 月 9 日	15,000 円
当日参加登録	2019 年 8 月 25 日～8 月 30 日	

### 3. 予算案

■収入	参加費	4160 万円
	協賛金	2750 万円
	助成金	200 万円
	合計:	7110 万円

■支出	人件費	1400 万円
	印刷・製作費	550 万円
	会場費	2020 万円
	展示機材費	380 万円
	弁当・飲料費	400 万円
	交流会費	950 万円
	招聘費	150 万円
	会議費	650 万円
	決済手数料	200 万円
	予備費	410 万円
	合計:	7110 万円

#### 4. 国際諮問委員

- ・Mehran Alaee, National Water Research Institute (Burlington)
- ・João Vicente de Assunção, University of Sao Paulo (Sao Paulo)
- ・Georg Becher, Oslo University (Oslo)
- ・Paolo Brambilla, University of Milan (Milano)
- ・Michael S Denison, University of California (Davis)
- ・Jerzy Falandysz, University of Gdańsk (Gdańsk)
- ・Heideloire Fiedler, Örebro University (Örebro)
- ・Jean-François Focant, University of Liège (Liège)
- ・Stuart Harrad, University of Birmingham (Birmingham)
- ・Gary Hunt, TRC Environmental Corporation (Lowell)
- ・Begoña Jiménez, Institute of Organic Chemistry, CSIC (Madrid)
- ・Bruno Le Bizec, Agroalimentaire et de l'Alimentation Nantes Atlantique (Nantes)
- ・Stephen H Safe, Texas A&M University (College Station)
- ・Shinichi Sakai, Kyoto University (Kyoto)
- ・Jae-Ho Yang, Catholic University of Daegu (Daegu)
- ・Minghui Zheng, Chinese Academy of Sciences (Beijing)

メヘラン・アレイ カナダ国立水質研究所 (バーリントン)

ジョアン・ビセンテ・アスンソン サンパウロ大学 (サンパウロ)

ジョージ・ベッチャー オスロ大学 (オスロ)

パオロ・ブランビリア ミラノ大学 (ミラノ)

マイケルデニソン カリフォルニア大学(デイビス)

ジャージー・フランジス グダニスク大学 (グダニスク)

ハイデロール・フィードラー エレブルー大学 (エレブルー)

ジーン フランソワ・フォカント リエージュ大学 (リエージュ)

スチュアート・ハラッド バーミンガム大学 (バーミンガム)

ゲアリー・ハント ティーアールシー エンヴァイロメント (ローウェル)

ベゴニャ・ヒメネス スペイン高等学術研究院、有機化学研究所 (マドリード)

ブルーノ ビゼック Agroalimentaire et de l'Alimentation Nantes Atlantique (ナント)

ステファン セイフ テキサス A&M 大学 (カレッジステーション)

シンイチ・サカイ 京都大学 (京都)

ジョーホー・ヤング 大邱カトリック大学校 (大邱)

ミンギ・チャン 中国科学院 (北京)

## 5. 主たる国内組織委員（敬称略）

有菌 幸司	熊本県立大学環境共生学部
太田 壮一	摂南大学薬学部薬学科環境保健学
甲斐 文祥	中間貯蔵・環境安全事業株式会社
亀井 雄	環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課
城戸 照彦	金沢大学医薬保健研究域保健学系
酒井 伸一	京都大学環境安全保健機構附属環境科学センター
柴田 康行	国立環境研究所環境計測研究センター
鈴木 規之	国立環境研究所環境リスク・健康研究センター
高岡 昌輝	京都大学大学院工学研究科
高田 秀重	東京農工大学農学部環境資源科学科
高橋 真	愛媛大学大学院農学研究科
田辺 信介	愛媛大学沿岸環境科学研究センター
中野 武	大阪大学環境安全研究管理センター
中村 一夫	京都高度技術研究所バイオマスエネルギー研究部
原田 浩二	京都大学医学研究科環境衛生学分野
平井 康宏	京都大学環境安全保健機構附属環境科学センター
藤原 忠	京都市環境政策局適正処理施設部
細見 正明	東京農工大学工学研究院応用化学部門
峯 勝之	京都府環境部環境管理課
宮田 秀明	摂南大学
森 千里	千葉大学大学院医学研究院環境生命医学
森田 昌敏	愛媛県環境創造センター
吉岡 敏明	東北大学大学院環境科学研究科
由田 秀人	産業廃棄物処理事業振興財団

## 6. 運営事務局

Congress Secretariat for DIOXIN2019

担当: 中山、太田

〒541-0047 大阪府中央区淡路町 3-6-13 株式会社コングレ 内

TEL: 06-6229-2561

FAX: 06-6229-2556

E-mail: dioxin2019@congre.co.jp

# DIOXIN2019 <協賛申込書>

■ 申込先: dioxin2019@congre.co.jp (運営事務局宛)

■ 申込締切: 2019年4月30日(火)

申込日: 201 年 月 日

フリガナ			
社名 (日本語)			
社名 (英語)			
住所	〒		
担当者			
所属			
TEL		FAX	
E-mail			

■ 申込希望枠に○をご記入ください。

ランチョンセミナー(オプション 50 万円)・ドルチェセミナー(オプション 10 万円)の開催も希望される場合は、該当欄に○をご記入ください。

ダイヤモンド, プラチナ, ゴールドへ申込希望で、会議バッグへのパンフレット挿入(オプション 10 万円)も希望される場合は、該当欄に○をご記入ください。

区分	賛助金	申込希望枠	会議バッグへのパンフレット挿入 (オプション10万円)
ダイヤモンド	500 万円		
プラチナ	400 万円		
ゴールド	300 万円		
シルバー	200 万円		
ブロンズ	100 万円		
レギュラー	50 万円		

※ランチョンセミナー・ドルチェセミナーの開催には、スポンサーシップへのお申込みが必要です。

ランチョンセミナー・ドルチェセミナーの開催			開催希望枠
8月25日(日)	50万円+昼食実費	【A】ランチョンセミナー	
8月26日(月)	10万円+デザート実費	【B】ドルチェセミナー	
8月27日(火)	10万円+デザート実費	【B】ドルチェセミナー	
8月28日(水)	10万円+昼食実費	【C】ランチョンセミナー	
8月29日(木)	10万円+デザート実費	【B】ドルチェセミナー	

■ その他ご希望などございましたら、ご記入ください。